

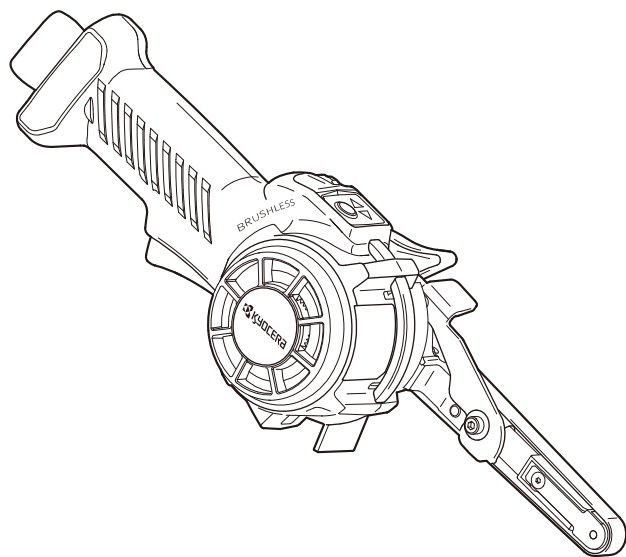
ベルトサンダー

LBS1030

L シリーズ

取扱説明書

保証書付



※ ご使用には別販売品のコントローラーと脱着ケーブルが必要です。

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本製品の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

もくじ

ページ

安全上のご注意	1
電動工具に関する一般的なご注意	1
ベルトサンダーご使用に際して	6
各部の名称・仕様	9
各部の名称	9
仕様	9
付属品・用途・別販売品	10
付属品	10
用途	10
別販売品	10
準備	11
接続全体図	11
各部の接続	12
使用前の点検	15
試運転をおこなう	16
使用方法	17
コントローラーの電源スイッチの操作	17
スイッチ操作	18
ベルト速度の調節	19
ヘッド角度の調節	19
ベルトカバー締付の調整	21
エンドレスベルトの交換	22
エンドレスベルトのズレ調整	24
オフセットブラケットについて	25
オフセットブラケットの取付け、取外し	25
LED ランプ表示の見方	26
保守と点検	27
保証書	裏表紙



安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - ⚠ 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - ⚠ 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 「⚠ 警告」・「⚠ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「⚠」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- 本書に記載している「電動工具」は、本製品とコントローラー（別販売品）が脱着ケーブルで接続された状態の製品を示します。
 - お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

■ 電動工具に関する一般的なご注意

⚠ 警告

A) 作業環境

1. 作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある場所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

B) 電気に関する安全事項

1. 電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。
電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用したりしないでください。
 - ・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

警 告

2. パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・身体がアースされたものと接触した場合、感電するおそれがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
 - ・電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが破損したり、からまって感電するおそれがあります。
5. 屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・屋外使用に適した延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
6. 電動工具を湿った場所で用いることが避けられない場合、電動工具を接続する電源が労働安全衛生規則や電気設備に関する技術基準などに規定された感電防止用の漏電しゃ断装置（RCD）を備えていることを確認してください。
 - ・漏電しゃ断装置を使用することで、感電のリスクは低減されます。
7. アースに関する安全上のご注意
 - 1) 必ずアースしてください。
 - ・アースをしないと故障や漏電のとき、感電の原因となります。
 - ・電源プラグのアース端子を用いてアースに接続してください。
 - ・テスタや絶縁抵抗計をお持ちの場合は、アース端子と電動工具の金属部との間の導通を確認してください。
 - ・アースするとともに感電防止用の漏電しゃ断装置を備えた電源に接続することをお勧めします。
 - ・アース棒または、アース板を地中に埋め込んでアース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談ください。
 - ・漏電しゃ断装置やアースについては、下記の法規を参照し、十分理解した上で作業して下さい。
 - 労働安全衛生規則の第 333 条および第 334 条
 - 電気設備に関する技術基準を定める省令（平成 9 年通商産業省令）の第 10 条および第 11 条

警 告

- 2) アース端子をガス管に接続しないでください。爆発のおそれがあります。
- 3) 電源コードに延長コードを接続する場合は、アース線を備えた 3 芯の延長コードを使用してください。アース線のない 2 芯の延長コードを使用すると感電の原因になります。

C) 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業してください。

- ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
- ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいたりする場合は、電動工具を使用しないでください。
- ・ 一瞬の不注意が深刻なけがや事故を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。

- ・ 作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、けがや事故が低減されます。

3. 電源につないだ状態でスイッチに指をかけて電動工具を運ばないでください。電源プラグを電源コンセントにさし込む前にスイッチがオフになっていることを確かめてください。

- ・ スwitchに指をかけて運んだり、スイッチがオンの状態で電源プラグを電源コンセントにさし込んだりすると、電動工具が意図せず始動し、けがや事故を引き起こすおそれがあります。

4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ・ 電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転してけがや事故のおそれがあります。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・ 常に適切な足元およびバランスを維持することで予期しない状況でも適切に操作することができます。

6. だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、きちんとした服装で作業してください。髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

- ・ 回転部に巻込まれるおそれがあります。

警 告

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・ 集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

8. 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。

- ・ 不注意な行動は、重大な傷害を引き起こすおそれがあります。

D) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

- ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
- ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。

- ・ スイッチで始動および停止ができなくなった電動工具は使用しないでください。直ちに使用を止め、お買い上げの販売店に修理をご相談ください。そのままの状態で使用続けるとけがや事故の原因となるおそれがあります。

3. 意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電動工具が意図せず始動するリスクを低減することができます。

- ・ 電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
- ・ 保管、または修理する場合
- ・ その他危険が予想される場合

4. 使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。

- ・ 電動工具に不慣れな方が使用するとけがや事故の原因となるおそれがあります。

5. 電動工具、付属品および先端工具は適切に保管し、使用前には必ず点検してください。

- ・ 可動部分の芯ずれおよび位置調整、締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所や機能に異常がないか確認し、異常がある場合は、ご使用前に修理してください。
- ・ 保守が不十分な場合、けがや事故の原因になります。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない部品交換や修理は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

警 告

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。

- ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。

- ・ 指定された用途以外に使用すると、事故や故障の原因になります。

E) 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、けがや事故のおそれがあります。

F) その他の安全事項

1. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。

- ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。

2. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

- ・ アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康障害を発症させる物質です。

3. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

〈異常・故障例〉

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードや延長コードに深いキズや変形がある。
- コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- 焦げくさい臭いがする。
- ビリビリと電気を感じる。
- スイッチで始動、及び停止操作できない。
- スイッチを入れても動かない。等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

4. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書、および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、けがや事故の原因となるおそれがあるので使用しないでください。

警 告

5. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
6. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・ 感電のおそれがあります。
7. 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 握り部が滑ると、電動工具の安全な取扱いまたは、制御を妨げるおそれがあります。
8. 足元が滑りやすいところで作業する場合は、滑り止めのついた履物を着用してください。
 - ・ 転倒し、けがや事故を引き起こすおそれがあります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。

■ ベルトサンダーご使用に際して

先に電動工具として共通の警告事項を述べましたが、ベルトサンダーをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがや事故の原因になります。
2. 指定のエンドレスベルトを使用してください。
 - ・ 指定以外のエンドレスベルトを使用すると、エンドレスベルトが切れたり、外れたりしてけがや事故の原因になります。
3. 使用するときはプーリーカバーを外して使用しないでください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
4. 水、オイルなどを使つての湿式研磨作業はしないでください。
 - ・ 故障および感電の原因になります。

警 告

5. 湿った場所、ぬれた場所での作業はしないでください。
 - ・ 感電の原因になります。
6. 使用中は、振回されないよう本体を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがや事故の原因になります。
7. 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
 - ・ 思わぬけがや事故の原因になります。
8. 使用中は、軍手など巻込まれるおそれのある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻込まれ、けがや事故の原因になります。
9. 使用中は、エンドレスベルトおよび可動部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
10. 鉄を研磨する場合、研磨粉は火花となって飛散しますから、引火しやすいものや、傷つきやすいものは危険のない所に遠ざけてください。また、火花を直接手足などに当てないようにしてください。
 - ・ 火災ややけどの原因になります。
11. 作業を中断するときや付属品を交換するときには、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 不意な始動による、けがや事故の原因になります。
12. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
13. 使用中、製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがや事故の原因になります。
14. 誤って落としたり、ぶつけたときは、エンドレスベルトや本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがや事故の原因になります。
15. LED ライトの光を直接のぞき込んだり、目に当てないでください。
 - ・ LED ライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になります。
16. 絶対に分解したり修理・改造しないでください。
 - ・ 発火したり、異常作動してけがや事故の原因になります。

警 告

17. 作動中の先端可動部には、絶対に触れないでください。
また、作動中の先端可動部を人や動物に向けしないでください。
- ・ けがや事故の原因になります。

注 意

1. エンドレスベルトは、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・ 確実でないと外れたりし、けがや事故の原因になります。
2. 加工する材料は確実に保持してください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
3. エンドレスベルトに被研削物を強い力で押しあてたり、鋭利なものを押しあてないでください。
 - ・ エンドレスベルトが切れる原因になります。
4. 高所作業の時は、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・ 材料や本製品などを落としたときなど、けがや事故の原因になります。
5. スイッチを切った後も、惰性で回転しているエンドレスベルトに注意してください。
 - ・ 手などが触れると、けがや事故の原因になります。
6. 使用後、点検・整備するとき、本製品から離れるときには、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 不意な始動により、けがや破損の原因になります。

免責事項について

お客様または第三者が、本製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合または本製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

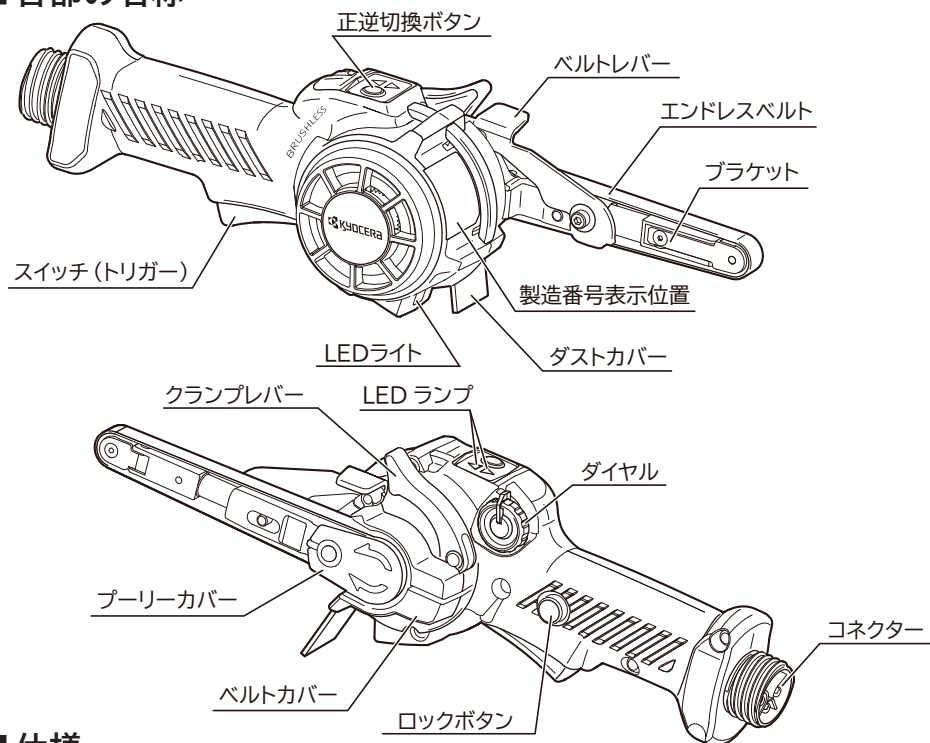
騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

各部の名称・仕様

■各部の名称



■仕様

- ・ 電源 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・ 定格電流 7A
- ・ 消費電力 500W
- ・ 無負荷回転数 $8,300 - 24,000 \text{ min}^{-1}$
- ・ ベルト速度 $600 - 1,700 \text{ m/min}$
- ・ ベルト寸法 (幅×周長) $10 \times 330 \text{ mm}$
- ・ 本体寸法 ※¹ (長さ※²×幅×高さ) $319 \times 100 \times 93 \text{ mm}$
- ・ 質量 ※¹ 1.0 kg
- ・ 振動 3 軸合成値 ※³ : IEC62841-2-4 に基づき測定 2.5 m/s^2 以下

※ 1 脱着ケーブルを取外した時の値です。

※ 2 長さ寸法は、コネクターに取付ける防じんキャップを外した時の値です。

※ 3 『3 軸合成値の取扱い』については、日本電機工業会のウェブサイトで紹介しておりますのでご参照ください。

<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.htm>

◆ 上記は当社の基準に基づいた値です。

付属品・用途・別販売品

■ 付属品

- ・ エンドレスベルト 10 mm X 330 mm
 - # 401
 - # 601
 - # 80 (本体取付)1
 - # 1201
- ・ オフセットブラケット1
- ・ 防じんキャップ (本体取付)1

■ 用途

- ・ 溶接バリ取り、狭所のサビ落し

■ 別販売品

- ・ コントローラー



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

<電子カタログ>

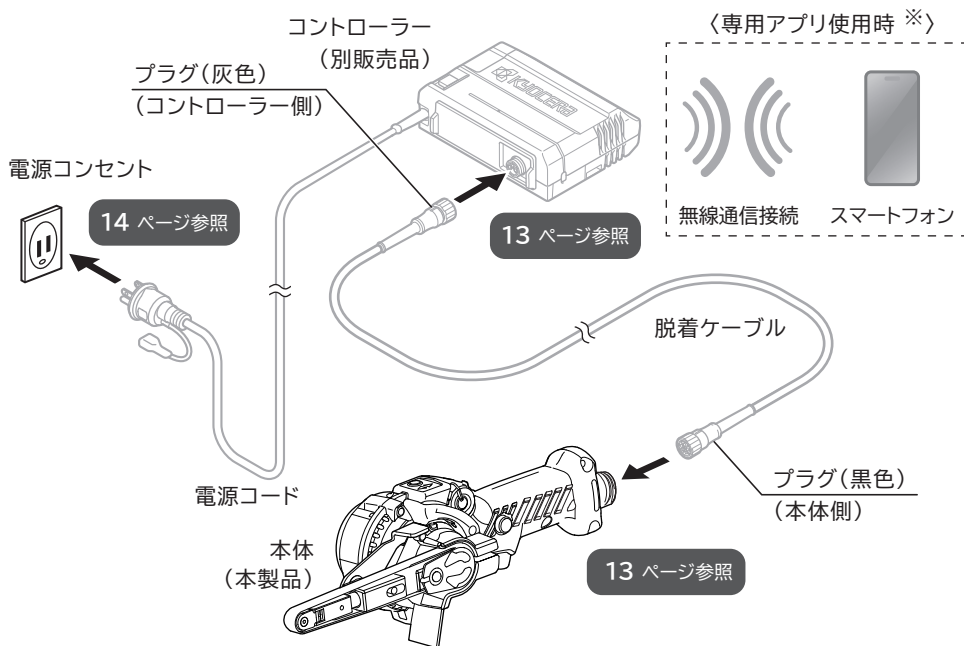
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



準備

■ 接続全体図

この図を参考にコントローラーや脱着ケーブル、本製品の接続を行ってください。



※ 専用アプリをご使用の場合は、コントローラーの取扱説明書をご参照ください。
こちらからも〈モデル番号〉“LC2010”で検索できます。



- ・コントローラーの取扱説明書もよく読んで本製品をお使いください。
- ・スマートフォンと無線通信接続しなくても使用することができますが、専用アプリを使用する場合は、無線通信接続してください。
- ・専用アプリを使うことで、ファームウェアのバージョン確認と更新、保護機能が働いた際の原因と対処方法の確認ができます。
- ・スマートフォンはお客様でご用意ください。
- ・感電事故防止のため、ご使用に先立ちアース（接地）してください。
- ・シングル絶縁構造ですので法律により漏電しゃ断器の設置が必要です。感電防止のために、定格電流が30mA以下の漏電しゃ断器の設置をしてください。

■ 各部の接続

 警 告

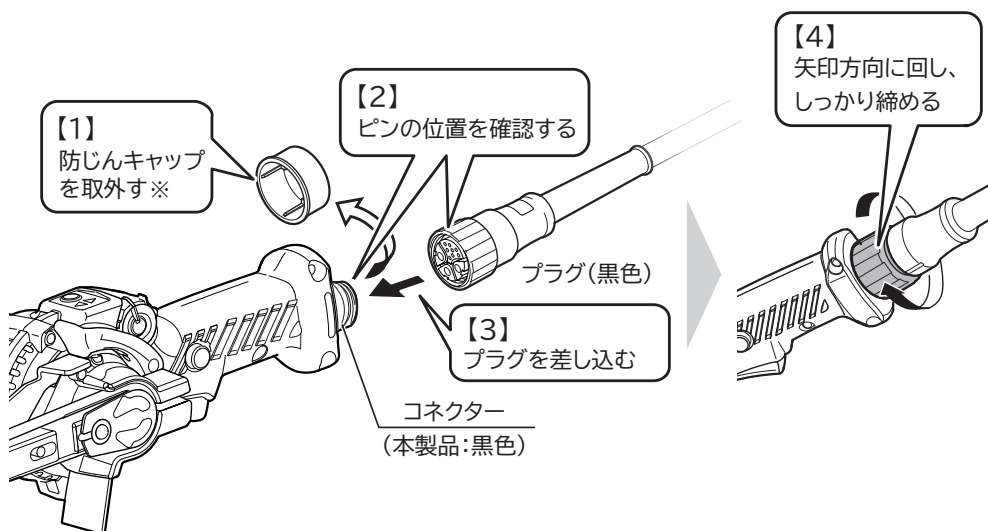
- ・ コントローラーおよび、脱着ケーブルを当社の L シリーズ製品以外で使用しないでください。
- ・ コントローラーには、安全のために再起動防止機能を設けていますが、脱着ケーブルのプラグを本製品のコネクタやコントローラーのコネクタに差し込む前に、電源コードのプラグが電源コンセントから抜けていること、また電源スイッチが切れていることを必ず確認してください。不意な始動によるけがや事故の原因になります。
- ・ 脱着ケーブルのプラグや本製品のコネクタ、またコントローラーのコネクタの接続面をぬらさないでください。感電の原因になります。
- ・ 脱着ケーブルのプラグや本製品のコネクタ、またコントローラーのコネクタの接続面に付着した異物や水分などは、電源プラグを電源コンセントから抜いた後に取除いてください。感電、発火の原因になります。

 注 意

- ・ 脱着ケーブルの接続が不十分な状態で使用しないでください。不意に抜けたり、故障の原因になりますので、確実に取付けてください。
- ・ 脱着ケーブルのプラグは本製品側とコントローラー側で色を分けています（本製品側：黒色、コントローラー側：灰色）。同じ色のコネクタに接続してください。無理に接続しないように注意してください。破損や故障するおそれがあります。
- ・ コネクタのピンと脱着ケーブルのプラグのピンの位置が合っていることを確認して挿入してください。無理に取付けるとピンが破損し、使用できなくなります。
- ・ コントローラーには再起動防止機能を設けており、本製品の電源を ON にしたまま脱着ケーブルを差し込んでも始動しません。

● 本製品と脱着ケーブルの接続

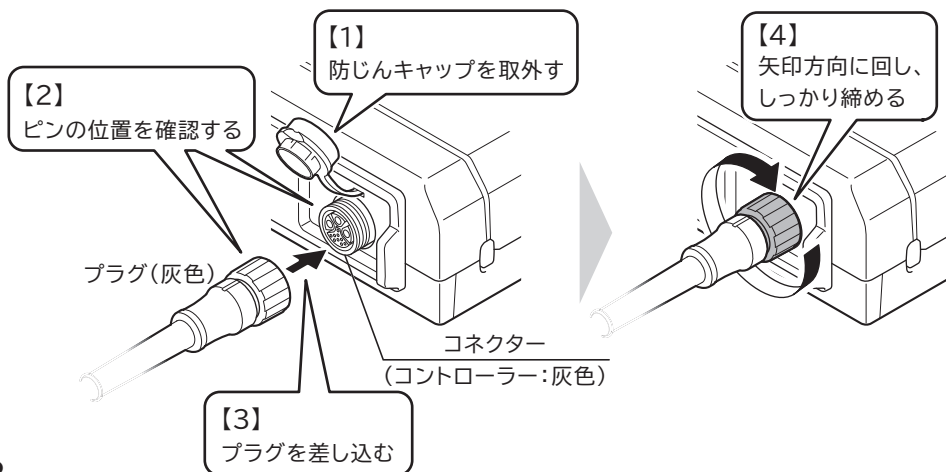
本製品のコネクターから防じんキャップを取外し、脱着ケーブルのプラグ（黒色）を接続します。取外しは逆の要領で行ってください。



※ 防じんキャップは、紛失防止のため、コントローラーの防じんキャップに取付けることができます。

● コントローラーと脱着ケーブルの接続

コントローラーのコネクターから防じんキャップを取外し、脱着ケーブルのプラグ（灰色）を接続します。取外しは逆の要領で行ってください。



● 電源コードと電源コンセントの接続

⚠ 警 告

- ・ コントローラーの電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、本製品のスイッチが切れていることを必ず確認してください。
- ・ 本製品は必ず銘板に表示してある電圧（100V）で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、本製品やコントローラーの故障、けがや事故の原因になります。
- ・ コントローラーの電源プラグをさし込んだとき、電源コンセントががたついたり、電源プラグがすぐ抜ける場合は電源コンセントの修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、事故や故障の原因になります。

コントローラーの電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

● 延長コードを使用する場合

電源コードを延長する場合は、下記の要件を満たすコードを使用してください。なお、延長コードを使用すると、本製品の能力が低下したり、保護機能が働き停止しやすくなります。

- ・ 延長コードは損傷のないものをご用意ください。
- ・ 電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。下表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ （導体公称断面積）	最大の長さ
2.0 mm ²	10 m

■ 使用前の点検

① 作業する場所の確認

作業場は整頓し、明るくしてご使用ください。

② 本製品の確認

点検前にコントローラーの電源プラグが電源コンセントと接続されていないことを確認してください。接続されている場合は、安全のため、電源コンセントから電源プラグを抜いて以下を確認してください。

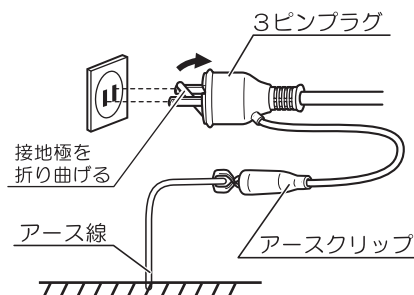
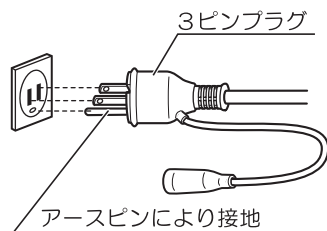
- ・ 本製品のスイッチが OFF になっていること。
- ・ エンドレスベルトなどの先端工具が材料などに接触していないこと。

③ 漏電しゃ断器の確認

使用する電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用の漏電しゃ断装置が設置されていることを確認してください。

④ アース（接地）の確認

- ・ 感電事故防止のため、ご使用前に必ずアース（接地）してください。
- ・ 電源コンセントが 3 ピン（アース付）の場合は、3 ピンプラグ（可倒式さし込み）をそのままさし込んでください。
- ・ 電源コンセントが 2 ピン（2 極電源）の場合は、接地極がありません。図のように接地極を折り曲げて電源コンセントに差し込み、アースクリップをアース線に接続してください。
- ・ アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップとコントローラーの金属部（外部）間が導通していないことを確認してください。
- ・ アース棒やアース板を地中に埋め込んでアース線を接続するなどの電気工事の実施には電気工事士の資格が必要です。お買い上げの販売店や最寄りの電気工事店にご相談ください。



⑤ 使用電源の確認

- 必ず銘板に表示してある電圧（100V）で使用してください。表示を超える電圧で使用すると本製品やコントローラーが破損し、けがや事故の原因になります。
- コントローラーの電源プラグをさし込んだとき、電源コンセントががたついたり、電源プラグがすぐ抜ける場合は、電源コンセントの修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、事故や故障の原因になります。

⑥ 各接続部の確認

- 各接続部が確実に接続されていることを確認してください。
- 電源コードを延長している場合は、延長している電源コードの接続も確認してください。

■ 試運転をおこなう

- 試運転の前に、周りに人がいないか、本製品とコントローラーの周りに障害物はないか十分に確認してください。
- 試運転を行い、本製品とコントローラーに異常がないことを十分に確認してください。
- 本製品のスイッチとコントローラーの電源スイッチを ON にした際に、本製品の LED ランプが点滅も点灯もしない場合は、本製品を制御するためのプログラム（ファームウェア）のバージョンが最新でないことが考えられます。

※ ファームウェアを更新しても本製品の LED ランプが点滅も点灯もしない場合は、コントローラーが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にお問い合わせください。

使用方法

■コントローラーの電源スイッチの操作

⚠ 警 告

- ・ コントローラーの電源スイッチを ON する際は、本製品のスイッチを必ず OFF にしてください。コントローラーには安全のために再起動防止機能を設けていますが、本製品のスイッチが ON の状態でコントローラーの電源スイッチを ON にすると、本製品が不意に起動し、思わぬけがや事故の原因になります。

⚠ 注 意

- ・ 本製品の運転、停止は必ず本製品のスイッチで操作してください。コントローラーの電源スイッチで本製品の運転、停止を操作すると、コントローラーが故障する原因になります。
- ・ 作業終了後は必ず本製品のスイッチを OFF にしてから、コントローラーの電源スイッチを OFF にしてください。

● 電源スイッチを ON にする方法

コントローラーの電源スイッチの「ON」側を押すと、LED ランプが赤色に点灯します。

- ・ LED ランプが赤色に点灯している間、コントローラーは通電状態です。

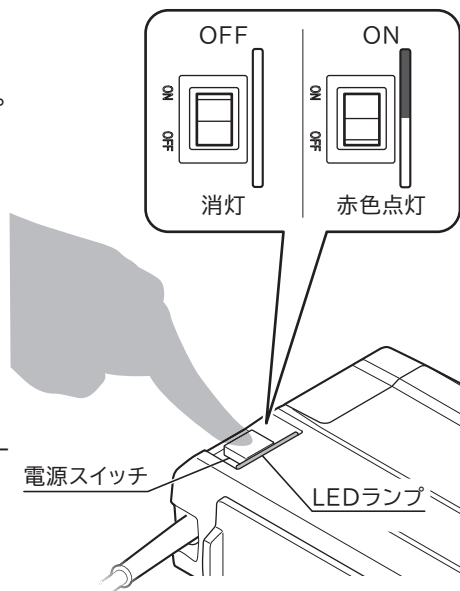
※ コントローラーが通電状態になると本製品の LED ランプも点灯します。

● 電源スイッチを OFF にする方法

コントローラーの電源スイッチの「OFF」側を押すと、LED ランプが消灯します。

- ・ LED ランプが消灯している間、コントローラーは非通電状態です。

※ コントローラーが非通電状態になると本製品の LED ランプも消灯します。



■ スイッチ操作

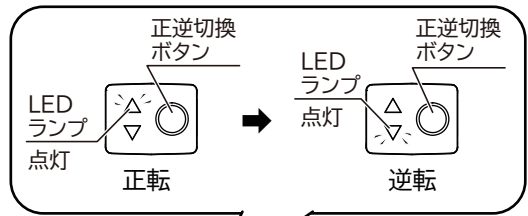
⚠ 警 告

- ・ 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがや事故の原因になります。
- ・ コントローラーの電源プラグを電源コンセントにさし込む前や脱着ケーブルのプラグを本体にさし込む前にスイッチが切れていることを必ず確認してください。不意な始動によるけがや事故の原因になります。
- ・ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。けがや事故の原因になります。

● 正転・逆転の切換え

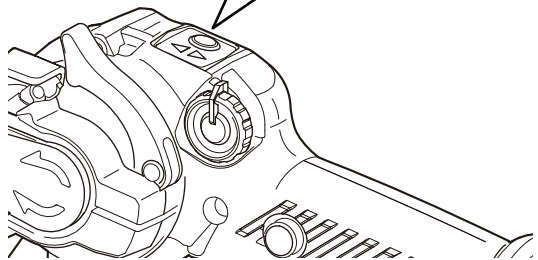
正逆切換ボタンを押して、正転と逆転を切換えます。

LED ランプ△(正転)が点灯時、スイッチ(トリガー)を引くと正転します。モーターが完全に停止した後、正逆切換ボタンを押すと、LED ランプ▽(逆転)が点灯、スイッチ(トリガー)を引くと逆転します。



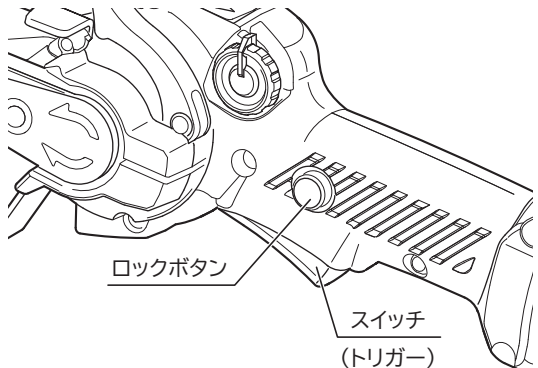
⚠

正転逆転の切換えは、モーターが完全に停止後、正逆切換ボタンを押して、切換えてください。



● 連続運転する場合

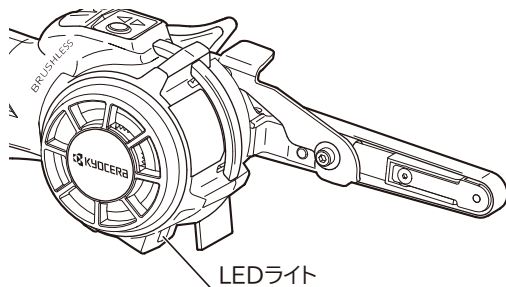
スイッチ(トリガー)を引いた状態で、ロックボタンを押し込みます。ロックボタンを押し込んだまま、スイッチ(トリガー)から指を放すと、スイッチ(トリガー)が固定され連続運転になります。再度スイッチ(トリガー)を引くと、固定が解除され、指を放すとスイッチが切れます。



使用方法

● LED ライト

スイッチ（トリガー）を引くと、LED ライトが点灯します。
スイッチ（トリガー）を放すと、約 30 秒後に消灯します。

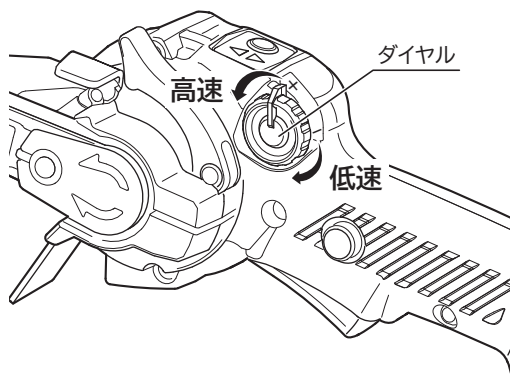


■ ベルト速度の調節

ダイヤル操作により、ベルトの速度を調節できます。

「+」側にすると高速回転、「-」側にすると低速回転します。

研磨 / 研削する材料や、用途に適した回転数に合わせて使用してください。



■ ヘッド角度の調節

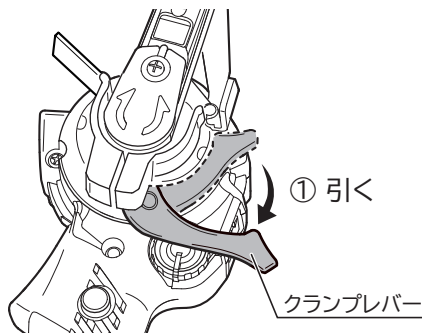
⚠ 警 告

- ・ ヘッド角度を調節するときは、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがや事故の原因になります。

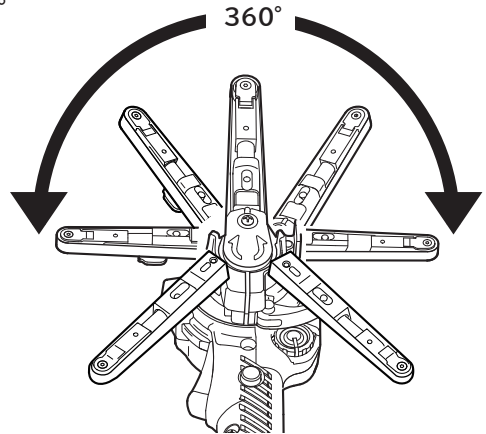
ヘッド部は 360°回転し、任意の位置に固定できます。作業に合わせてヘッドの角度を調節し、研磨／研削作業を行ってください。

（調節方法）

- 【1】 クランプレバーを矢印①の方向に引いて、固定を解除します。

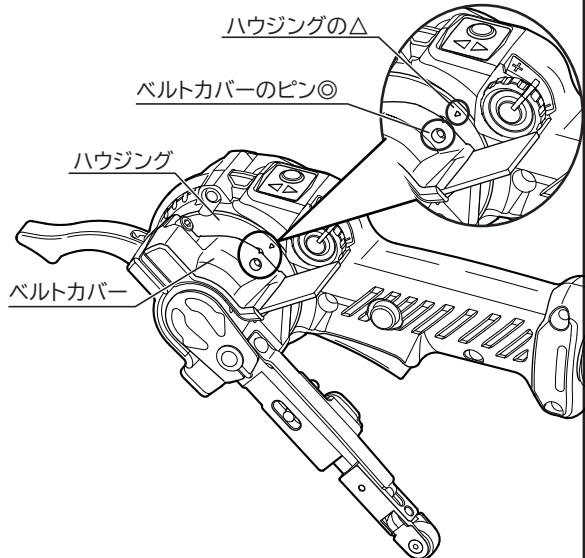


【2】 ヘッド部をお好みの角度に合わせます。



ハウジングからベルトカバーが抜ける箇所が2箇所（ハウジングの△とベルトカバーのピン◎が一致する位置）ありますので、抜けないように注意してください。もし抜けた場合は、ハウジングの△とベルトカバーのピン◎の位置を合わせて挿入してください。

※もう1箇所は、ヘッドを180度回転した位置にあります。



使用方法

- 【3】 ヘッド部をお好みの角度に合わせたら、クランプレバーを元の位置に戻し、固定します。

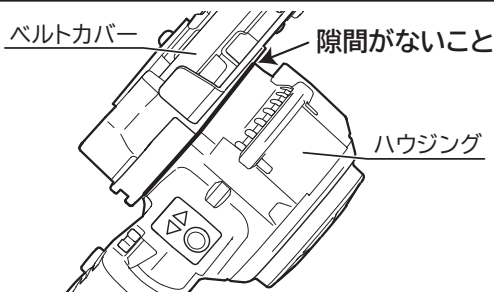


ヘッド部の固定を確実に行ってください。
けがや事故の原因になります。



固定する際は、ベルトカバーとハウジングの間に隙間がないようにベルトカバーをハウジングに当たるまで押し込んでください。

※ ベルトカバーとハウジングの間に隙間があると、ベルトカバーがしっかり固定されず使用中に角度が変わり、けがをすることがあります。また、ベルトのずれが生じるおそれがあります。

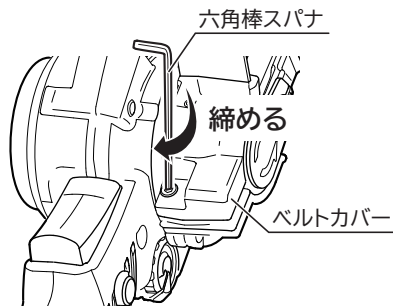


■ ベルトカバー締付の調整

⚠ 警告

- ・ ベルトカバー締付の調整するときは、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがや事故の原因になります。

ベルトカバーが緩んだときは、右図のようにお手持ちの六角棒スパナ（3mm）で締め付けてください。



■ エンドレスベルトの交換

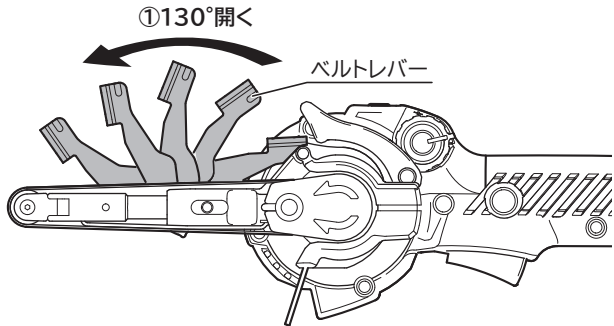
⚠ 警 告

- ・ エンドレスベルトを交換するときは、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがや事故の原因になります。
- ・ エンドレスベルトを交換するときは、革手袋などで手を保護してから行なってください。やけどやけがの原因になります。

⚠ 注 意

- ・ 連続使用後は、ベルト摺動部が熱くなっていますので、やけどに注意してください。

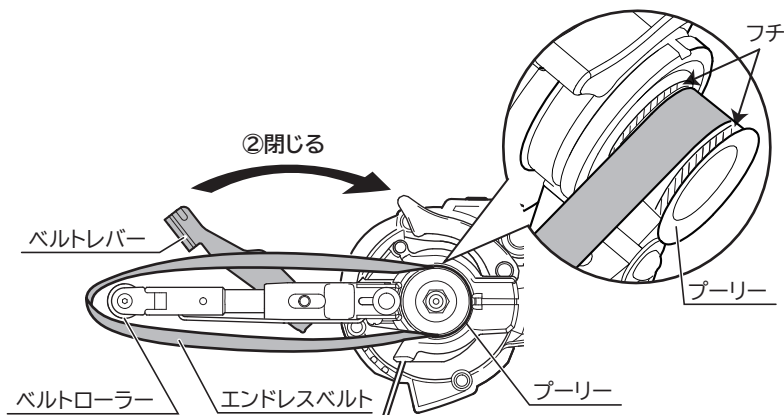
【1】 ベルトレバーを矢印①方向に開きます。



使用方法

- 【2】 エンドレスベルトを取外し、新しいエンドレスベルトを取付けます。
エンドレスベルトをプーリーの奥までしっかり掛け、ベルトローラー側へ引っ張りながらベルトローラーに掛けます。

※ エンドレスベルトの取付けには、回転方向の決まりがありません。



エンドレスベルトを取付けるときは、プーリーの両側のフチにエンドレスベルトが当たらないように取付けてください。

- 【3】 ベルトレバーを矢印②の方向に閉じ、エンドレスベルトを固定します。エンドレスベルトが張った状態になります。



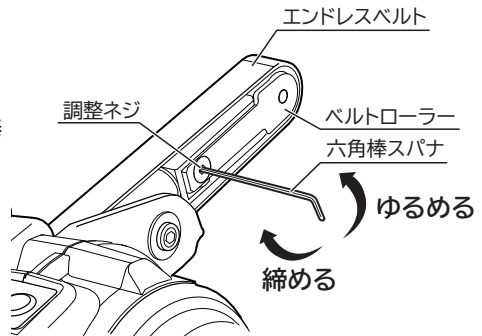
ベルトレバーは元の位置にしっかりと戻してください。

■ エンドレスベルトのズレ調整

⚠ 警 告

- ・ エンドレスベルトのズレを調整するときは、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
不意な始動によるけがや事故の原因になります。

長く使用していると調整ネジが緩み、ヘッド部が不安定になります。
その場合は、エンドレスベルトがベルトローラーの中央になるように、お手持ちの六角棒スパナ（2mm）で調整ネジを回して、エンドレスベルトの位置を調整してください。



使用方法

■ オフセットブラケットについて

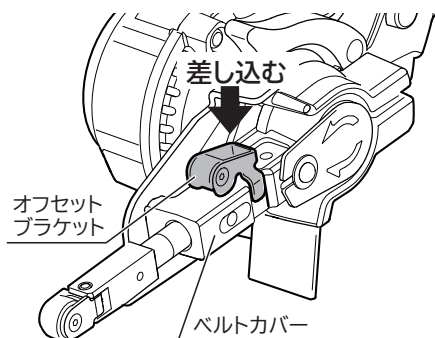
付属のオフセットブラケットを装着すると、エンドレスベルトの弾力を利用した曲面研削やバリ取りなどの軽研削が可能になります。

■ オフセットブラケットの取付け、取外し

(取付け)

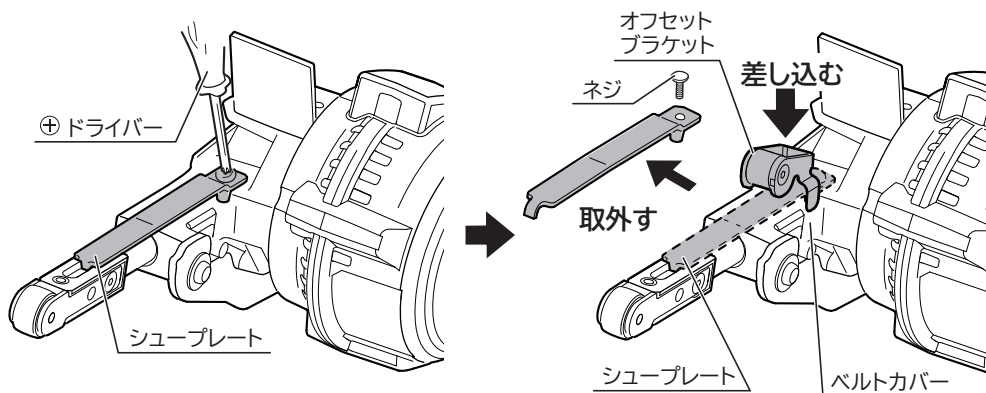
● ベルトカバーの上部に取り付ける場合

右図のように、ベルトカバーに差し込みます。



● ベルトカバーの下部に取り付ける場合

お手持ちの⊕ドライバーでシュープレートを固定しているネジを取外します。シュープレートを取外してから、オフセットブラケットをベルトカバーに差し込みます。



(取外し)

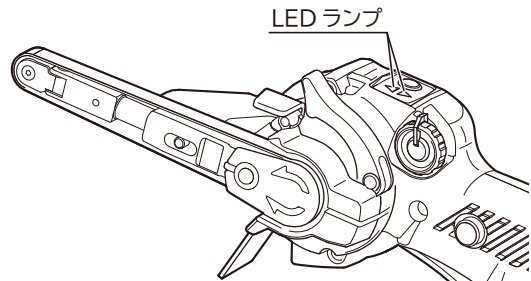
取外しは、取付けの手順の逆で行ってください。



オフセットブラケットを取外した後は、シュープレートの取付けを忘れないようにしてください。

■ LED ランプ表示の見方

- ・ 本製品の LED ランプの表示により、動作の状態を確認できます。



本製品	コントローラー	モード
点灯	赤色点灯	通電状態
点滅 ※1		保護状態※2
消灯	消灯	非通電状態※3

※1 コントローラーの電源スイッチ ON、OFF 直後は、本製品の LED ランプが 2 ～ 3 秒間点滅します。

※2 保護状態になった場合、どの保護機能が働いているかをコントローラーの専用アプリのエラーコードで確認することができます。

専用アプリのダウンロード方法や保護機能については、こちらで
〈モデル番号〉“LC2010”を検索してコントローラーの取扱説明書をご確認ください。



※3 非通電状態は、本製品のスイッチとコントローラーの電源スイッチが OFF の状態です。

保守と点検

⚠ 警 告

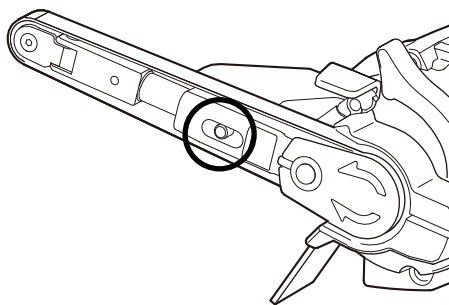
- 保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ず本製品のスイッチおよびコントローラーの電源スイッチを切り、コントローラーの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがや事故の原因になります。
- 絶対に分解したり修理・改造したりしないでください。発火したり、異常作動したりしてけがや事故の原因になります。

● 各部取付けネジの点検

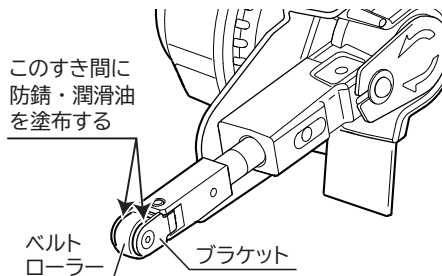
- ネジなどにゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は締め直してください。

● 使用後の手入れ

- 油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本製品を拭いてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は破損の原因になります。また、本製品の水洗いは絶対にしないでください。
- 右図の○で囲んだエリアに、使用後は粉じんが付着します。付着した粉じんを取り除き、定期的にグリスなど潤滑油を塗布してください。反対側も同様に手入れをしてください。



- ベルトローラーとブラケットのすき間（両側）に、定期的に防錆・潤滑油を塗布してください。



● 作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれがあるところは避けてください。
- 脱着ケーブルを取外した状態で保管する場合は、ゴミやほこりの浸入を防ぐために本製品のコネクターとコントローラーのコネクターに防じんキャップをかぶせてください。

● 修理について

- 本製品は厳密な管理の下で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。
- その他、部品の購入、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

NOTE

部品の購入、故障、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なく
お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口

当社 WEB サイトのサポートページ「よくある質問」や
「チャットボット」をご利用ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/>



■メールによるお問い合わせ

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/info/>



■電話によるお問い合わせ



0570-666-787

受付時間：

月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで

※通話料金はお客様負担となります。

サービスネットワーク（営業所一覧）

当社サービスネットワーク（営業所一覧）は、こちらをご確認
ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

回収のために下記のリョービ電動サンダーを探しています。

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は、こちらをご参照ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>



レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

持込修理

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名	LBS1030	製造番号（表示位置は「■各部の名称」をご確認ください）
お客様	お名前	
	ご住所 〒	
	電話	（ ）
お買い上げ日	年 月 日	保証期間（お買い上げ日より） 1 年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合には、京セラインダストリアルツールズ営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
(a) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
(b) 保管や手入れの不備による故障や損傷
(c) リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
(d) 水の浸入による故障または損傷
(e) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
(f) 過剰な負荷で使用する生じた故障または損傷
(g) 天災、異常電圧などによる故障または損傷
(h) 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
(i) 本書のご提示がない場合
(j) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
(k) モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
(l) 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
(m) 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
(n) 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
(o) 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社

広島県福山市松浜町 2-2-54 〒720-0802

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>